

わが町	<p>子どもの遊び場として公民館の利用。</p> <p>小中一体とした学校運営協議会に。（昨年度まで学校協力者会議）</p> <p>予算がつき、東校舎利用の改修型で R6 児童館開館決定（R4 設計、R5 工事開始）。</p> <p>※児童館：中学生まで利用可。放課後（帰宅後）子どもの居場所として過ごす場。</p>
シルバー	<p>3次プランの中で同じような内容はまとめてもいいのではないかと。</p> <p>高齢者に必要な情報提供の必要性（ボランティアバンクの活用など）。</p> <p>若い方向けに親の介護時の行政や包括センターなどからの支援・援助・利用方法の講演会があれば。</p>

※社協 HP での情報発信方法について じょうほうネット提案書より

現在…広報部が取材、記事作成、掲載している。いろいろな人に HP を見てもらうためにも各団体から情報発信、掲載できる形にしていきたい。情報は責任者（団体長）の確認後掲載する。公式 LINE も同じように広報部だけではなく、各団体からイベント告知や情報発信できるものになれば。HP は自ら見に行く、LINE はプッシュ型という特性を活かしていけば、上手く情報が流れていくのでは。

→社協公式 LINE は 10 月社協だよりに掲載（LINE 内で「早稲田社協」で検索も可）。

→社協だよりも新しい展開が必要。読む人の幅を広げることも大切。

→コロナ禍でのオープンスペース有無のお知らせなどができれば、地域の活動によりみなさんが参加しやすくなるのではないかと。

<結論>

反対意見なし。まちづくり推進部会で承認

社協役員会にてまちづくり推進部の意見として部長から提案する

※介護時の勉強会・講演会について シルバーネットより

若い方に親の介護時、行政や包括センターがどのような支援、援助をしてくれるかという講演会があれば。

→老人会に向けて利用をするように発信、話はしているが、地域包括センターの利用・活用の仕方を若い方に聞いてもらうのはいい。

→介護時にならないと話が聞かないかもしれないが、心の準備として、さまざまな場面がやってくるので、知識として知っておくと対処しやすい。

→制度も変わってくるので、常に新しい情報を入れていかないといけない。

→早稲田は医療、福祉がまだ足りていないところがある。医療関係者のネットワークができれば。

→お金の話もある。介護保険の利用方法など勉強会があれば、興味のある方は参加するのでは。

<結論>

地域として、何かできることはないかという目線で。

社協として、お年寄りだけでなく、若い方にも聞いてもらう講演会、勉強会（頼る場所、備えとして）を提供する。